

！ 注意 …取り扱いを誤ると怪我をしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。

1. 天板の均等耐荷重は150kgですが、天板が傾斜しているため落下すると危険な物や破損する物は載せないでください。
商品の破損・怪我の原因になります。
2. コボレ止めには、荷重30kg以上の負荷が掛からないようにしてください。
商品の破損・怪我の原因になります。
3. 使用中にボルトの緩みなどによるガタつきが生じた場合はボルトを締め直してください。
商品の破損・怪我の原因になります。
4. 商品の上に乗ったり、腰を掛けたりしないでください。
商品の破損・怪我の原因になります。
5. 床に傾斜や段差のある場所、また、不安定な場所では使用しないでください。
商品の転倒による怪我の原因になります。
6. 溶接外れなどの欠落など異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用していると、商品の破損により、怪我をすることがあります。
7. この商品を他の人が使用する時は、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

末永くご使用いただくために

1. この商品は屋内用です。屋外でのご使用や水濡れは、故障やさび・変色の原因となります。
2. 商品のお手入れについて
 - 日常のお手入れは乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
 - 汚れが著しい場合は、薄めた中性洗剤につけた布をかたく絞って拭いてください。
磨き粉・タワシ・ベンジン・シンナー・ガソリン・石油・酸類・化学雑巾などは塗装面をいためることがありますので、ご使用にならないでください。

品質表示

主な部品材質
傾斜台…スチール
樹脂キャップ … PE(ポリエチレン)
本商品は自主検査に合格しております

(検) 商品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。予めご了承ください。

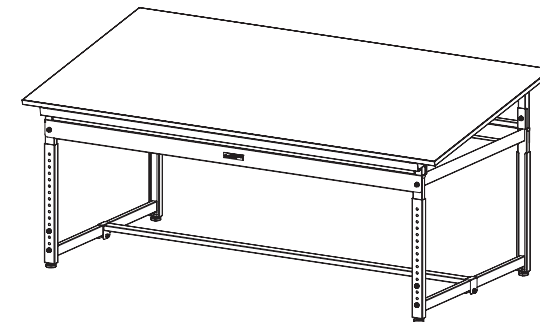
表示者

山金工業株式会社
お客様ご相談窓口 TEL:06-6974-8511
FAX:06-6972-7104
URL:<http://www.yamakin-kougyou.co.jp/>

アフターサービスについて
ご不明な点や修理については、
お買い上げの販売店までご連絡ください。

取扱説明書

ワークテーブル150シリーズ 傾斜天板タイプ

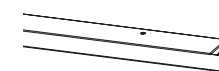


この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この説明書は、本商品の取り付け方と使用上の注意事項が記載してあります。
正しく安全にお使いいただくためにも、この説明書をよくお読みになり、内容をご理解いただいた上で、
ご使用くださいますようお願いいたします。

梱包内容

ワークテーブル150シリーズ 傾斜台セット 品番:KD-1890-W

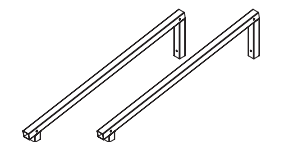
・傾斜天枠(前) : 1本



・傾斜ツナギ(前) : 1本



・傾斜脚 : 2本1セット



・傾斜天枠(後) : 1本



・傾斜ツナギ(後) : 1本



・ボルトM8×18 : 10本



・ボルトM8×45 : 4本



・取扱説明書 : 本票

組立の前に

1. 組立の間違いを防ぐため、組立手順に従って商品の組立を行ってください。
2. 組立の工具は、プラスドライバー(＃3)  をご使用ください。
インパクトドライバーはネジ部が破損する恐れがありますので使用しないでください。

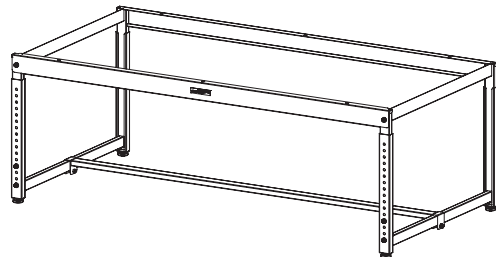
組立手順



ボルトは**仮締め**で組み立てを行い、最後に全てのボルトを**本締め**してください。

1 ワークテーブル150シリーズ高さ調整タイプを専用の取扱説明書を見ながら天板以外組み立てます。

注 専用の取扱説明書では先に天板と天枠を組み付ける手順になっていますが、当商品を取り付ける場合は天板を天枠に取り付けませんので手順にご注意ください。

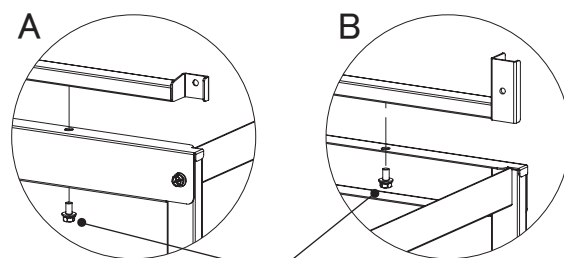
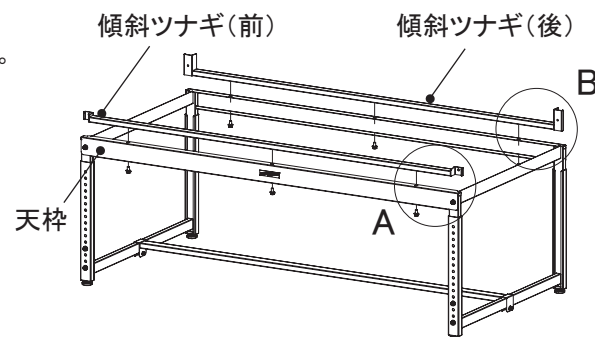


高さ調整タイプの組立用ボルト・ナットは、ワークテーブル用天枠・ツナギの梱包に入っています。その内、天板を固定するボルト(M8×18)6本は、3ページ目の手順6で使用します。

ボルトM8×18 : 6本

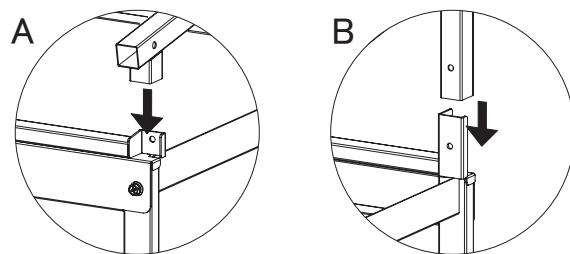
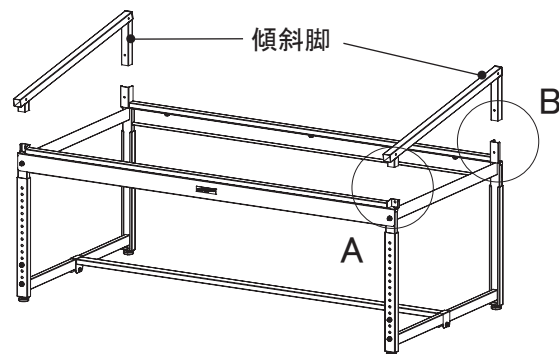


2 傾斜ツナギ(前)と傾斜ツナギ(後)を天枠にボルト留めします。

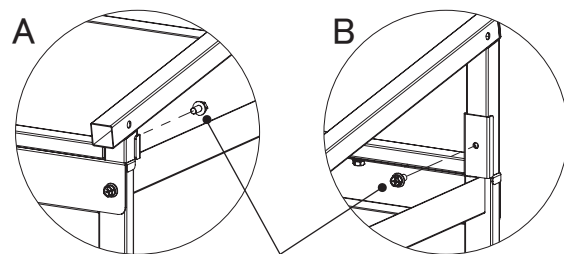
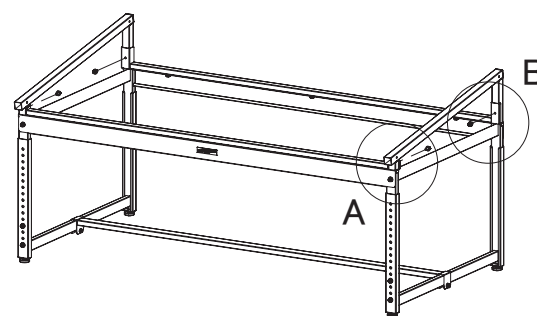


ボルト M8×18

3 傾斜脚を傾斜ツナギに差し込みます。

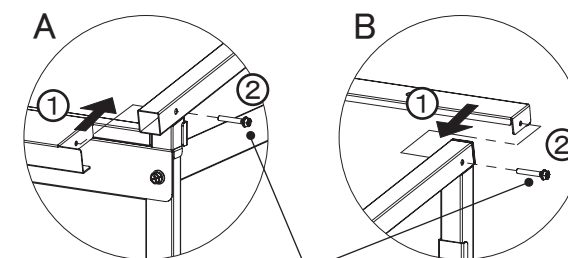
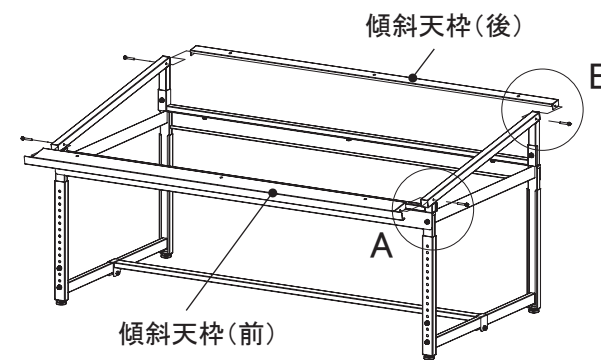


4 傾斜脚と傾斜ツナギをボルト留めします。



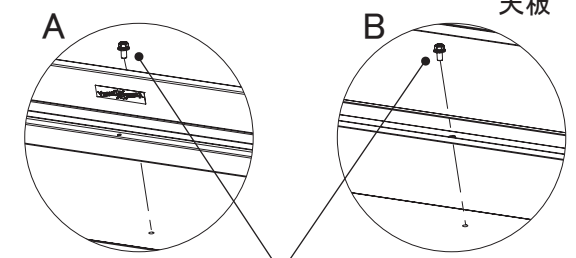
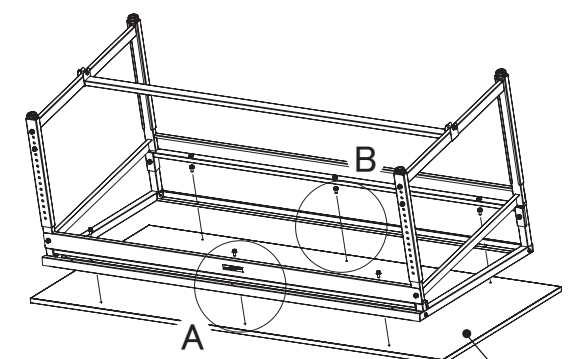
ボルト M8×18

5 傾斜天枠(前)と傾斜天枠(後)を傾斜脚にボルト留めします。



ボルト M8×45

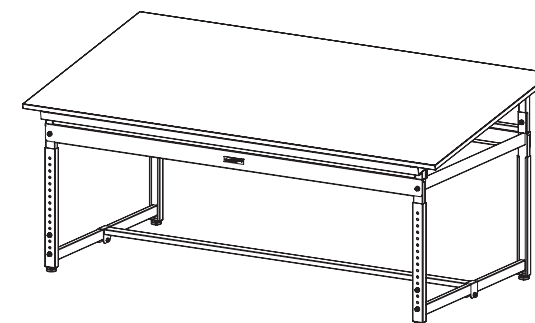
6 天板を反対にして床に置き、その上に手順5で組んだフレームを載せてボルト留めします。



ボルト M8×18

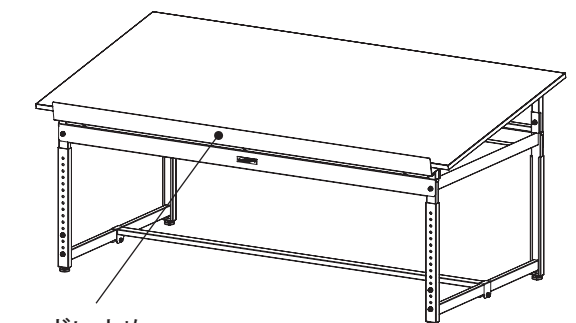
完成 ワークテーブルを起こして完成です。

【完成】



【オプション】コボレ止め付きの場合

コボレ止めを傾斜天枠(前)に下からボルト(コボレ止めに付属)で固定します。



コボレ止め